

## 法務総合研究所委託調査研究報告書

「法令間の不整合と法令制定プロセスとの関係について：インドネシアの事例から」の紹介

国際協力部教官

菊地 英理子

本調査研究報告書は、インドネシアにおける法令制定の具体的な手続き及び同国の法令間に不整合が生じている原因等について、名古屋大学大学院国際開発研究科の島田弦教授に調査を委託し、その結果をまとめていただいたものである。

インドネシアの法令に対しては、かねてより、同国への進出・投資を計画する外国企業から、規定内容が曖昧な経済投資関連法令が多数存在することや法令間に不整合が見られること、手続きが分かりにくく、その運用にも不透明な点があることなど、様々な問題の指摘がある。本調査研究は、インドネシアにおける法令制定プロセスを明らかにするとともに、上記のとおり指摘される法令間の不整合や不適切な運用等を具体的に確認し、そのような問題が生じる要因等を探るべく実施したものである。

なお、インドネシアにおいては、2021年10月から独立行政法人国際協力機構（JICA）によるプロジェクト「ビジネス環境改善のためのドラフターの能力向上及び紛争解決機能強化プロジェクト」が実施されている。このプロジェクトは、①法令案の作成やその審査等の法令制定手続きにおいて重要な役割を担う法令ドラフターの能力を向上させること及び②知財事件等のビジネス関連事件に関する裁判官の法的判断能力等を向上させることを目的とするものである。本調査研究によって得られた結果は、特に上記①の法令ドラフターの能力向上に有用な活動を検討・実施する際の参考になるものと思われる。